

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成20年>>

<週報> 第33週 (平成20年 8月11日 ~ 8月17日)

発行日: 平成20年8月20日

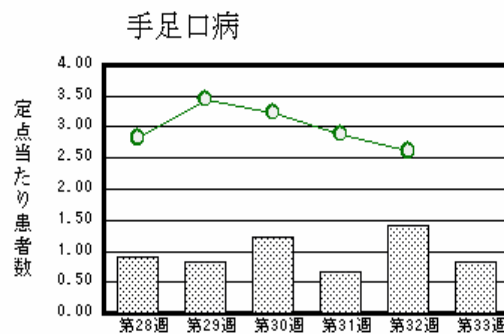
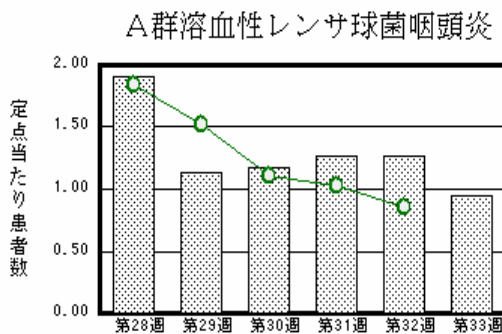
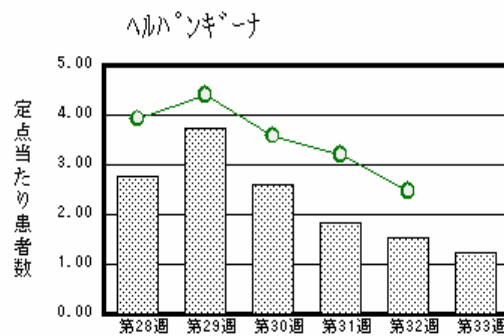
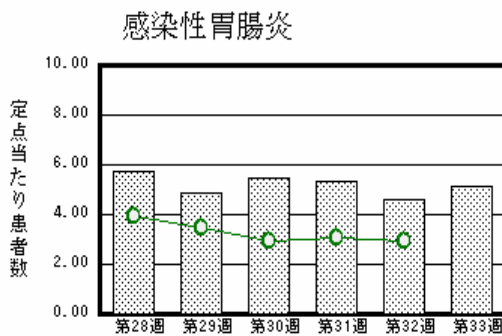
発行: 福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎113名(5.14名) ヘルパンギーナ27名(1.23名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎21名(0.95名) 手足口病18名(0.82名) 突発性発しん15名(0.68名) ()内は定点あたり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(113名) ヘルパンギーナ(27名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(21名) 手足口病(18名) 突発性発しん(15名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は113名です。定点当たり報告数は増加しました(4.59名 5.14名)。地域別にみると、福井地区10.29名、坂井地区4.00名、若狭地区3.50名、丹南地区2.40名、二州地区2.33名、奥越地区1.50名の順となっています。
4. 【ヘルパンギーナ】報告数は27名です。定点当たり報告数は減少しました(1.55名 1.23名)。地域別にみると、二州地区4.33名、丹南地区1.20名、福井地区0.86名、若狭地区0.50名、坂井地区0.33名の順となっています。
5. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は21名です。定点当たり報告数は減少しました(1.27名 0.95名)。地域別にみると、丹南地区1.80名、坂井地区1.33名、福井地区0.86名、二州地区0.67名の順となっています。
6. 【手足口病】報告数は18名です。定点当たり報告数は減少しました(1.41名 0.82名)。地域別にみると、奥越地区1.50名、丹南地区1.40名、坂井地区0.67名、福井地区0.57名、若狭地区0.50名、二州地区0.33名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2008年第31週号(7月28日~8月3日)要点

発生動向総覧	< 第31週 > 百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第31週の報告数は229例であり、累積報告数は1,784例であった
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2008年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2008年 / 手足口病患者から検出されているエンテロウイルス2008年
速報	パラチフス2007年 / 第2期麻疹風しん予防接種の接種率向上に向けて - 新潟市
海外感染症情報	コートジボワールにおける黄熱流行
感染症の話	< 今週はお休みです >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核2名の報告がありました。
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症1名の報告がありました。(下表参照)
- 4類感染症: 報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象: 報告はありませんでした。

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	
患者	女児 1名	
主な症状	腹痛、下痢、発熱、頭痛	
感染原因・感染経路	調査中	
平成20年	福井県	有症者25名、無症者17名
	全国	1,533名(7月27日現在)
平成19年同時期届出累計	有症者24名、無症者6名、全国1,712名	

福井県感染症発生動向調査

[定点報告: 五類感染症(週報分)] 平成20年 第33週 平成20年8月11日(月) ~ 平成20年8月17日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(32週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ を除く)									88 0.02
小児科 (22)	RSウイルス感 染症		2 0.67					2 0.09	1 0.05	353 0.12
	咽頭結膜熱					1 0.50	3 0.60	4 0.18	19 0.86	2439 0.82
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	6 0.86	4 1.33	2 0.67			9 1.80	21 0.95	28 1.27	2530 0.85
	感染性胃腸炎	72 10.29	12 4.00	7 2.33	7 3.50	3 1.50	12 2.40	113 5.14	101 4.59	8651 2.92
	水痘	4 0.57		1 0.33			4 0.80	9 0.41	21 0.95	1927 0.65
	手足口病	4 0.57	2 0.67	1 0.33	1 0.50	3 1.50	7 1.40	18 0.82	31 1.41	7768 2.62
	伝染性紅斑								1 0.05	297 0.10
	突発性発しん	7 1.00	1 0.33	1 0.33	1 0.50	1 0.50	4 0.80	15 0.68	21 0.95	2399 0.81
	百日咳					1 0.50	1 0.20	2 0.09		126 0.04
	ヘルパンギーナ	6 0.86	1 0.33	13 4.33	1 0.50		6 1.20	27 1.23	34 1.55	7314 2.47
流行性耳下腺 炎	3 0.43		6 2.00			1 0.20	10 0.45	26 1.18	1571 0.53	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*	*				18 0.03
	流行性角結膜 炎									553 0.86
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									3 0.01
	無菌性髄膜炎									32 0.07
	マイコプラズマ肺 炎	2 1.00						2 0.33	2 0.33	171 0.37
	クラミジア肺炎(オウム 病は除く)									11 0.02

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

*欄には定点はありません

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成20年第33週 平成20年8月11日(月)～平成20年8月17日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	
～5ヶ月		～5ヶ月					1				1	1		～5ヶ月							
～11ヶ月		～11ヶ月		1		8	1	3		9				～11ヶ月							
1歳		1歳	1	2		12		5		5		8	1	1歳							
2歳		2歳	1	1		12	5	5				6	3	2歳						1	
3歳		3歳			2	11	1	2				4		3歳						1	
4歳		4歳			5	7		1				3	1	4歳							
5歳		5歳			3	7		1				3	1	5歳							
6歳		6歳			2	13	1					1	1	6歳							
7歳		7歳			3	6		1						7歳							
8歳		8歳			2	2							1	8歳							
9歳		9歳			1	6							2	9歳							
10～14歳		10～14歳			2	18				1				10～14歳							
15～19歳		15～19歳				6								15～19歳							
20～29歳		20歳以上			1	5					1	1		20～29歳							
30～39歳														30～39歳							
40～49歳														40～49歳							
50～59歳														50～59歳							
60～69歳														60～69歳							
70～79歳														70歳以上							
80歳以上																					
合計		合計	2	4	21	113	9	18		15	2	27	10	合計							2
前期計		前期計	1	19	28	101	21	31	1	21		34	26	前期計							2
当期間/前期	***	当期間/前期	2	0.21	0.75	1.12	0.43	0.58		0.71	***	0.79	0.38	当期間/前期	***	***	***	***		1	***
増減数		増減数	1	-15	-7	12	-12	-13	-1	-6	2	-7	-16	増減数							

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき